



## 直動機器 新工場棟が稼働

# ヒーハイト、中長期の自動化需要見込む

ヒーハイトは直動機器を増産するため埼玉工場(埼玉県川越市)内に建設していた新工場棟を完成し、稼働した。投資額は約2億円で、延べ床面積は約694平方メートル。直動機器の需要は足元で調整局面にあるものの、デジタル化の進展で自動化・省人化や半導体関連・医療関連の需要増など中長期で市場拡大が見込まれており、新棟建設で対応力を高める。新棟「A棟(写真)」に本社棟から自動加工機を移設して稼働した。自動機を新棟に集約することで、従業員が

複数台の機械を担当するなど生産の効率化が図れる。新棟で海外人材も活用していく方針だ。

同社は直動機器の効率的な生産体制を構築する「スマート生産プロジェクト」の一環で設備投資を検討。2022年5月に公表し、準備を進めてきた。尾崎浩太社長は「21年はフル稼働・フル生産だった。何もしなければ生産は頭打ちで需要に応えられない」とし、需要の先行きについて「自動化・省力化のポテンシャルは高い」とみている。(川越)